

からうら

No. **80**

2018. 4. 30発行



ちよそん娘

動き出した病院改築 ————— ②

議会広報に提言 (モニター会議) ————— ④

新町長に問う ————— ⑤ ▶ ⑬

新鮮力! 協力隊が走る ————— ⑭

出した病院改築



1億円を積み立て

平成30年度
骨格予算でスタート

改築予定地



救急業務委託料
5750万円

5月に大型補正予算

3月ひな会議は、3月6日から23日まで開催し、29年度補正予算をはじめ、30年度一般会計予算、特別会計、条例改正15議案など全33議案等を審議し可決しました。また、9人の議員が新町長に政治姿勢などを問いました。

29年度一般会計補正予算

◎主なもの

勝浦病院への繰出金

7700万円

生比奈・横瀬小学校

エアコン設置 2370万円

3月ひな会議質疑

＊簡易水道管理条例の一部改正

問 大西議員

簡易水道の町営化に向けて、体制と水道料金の統一は。

答 野上町長

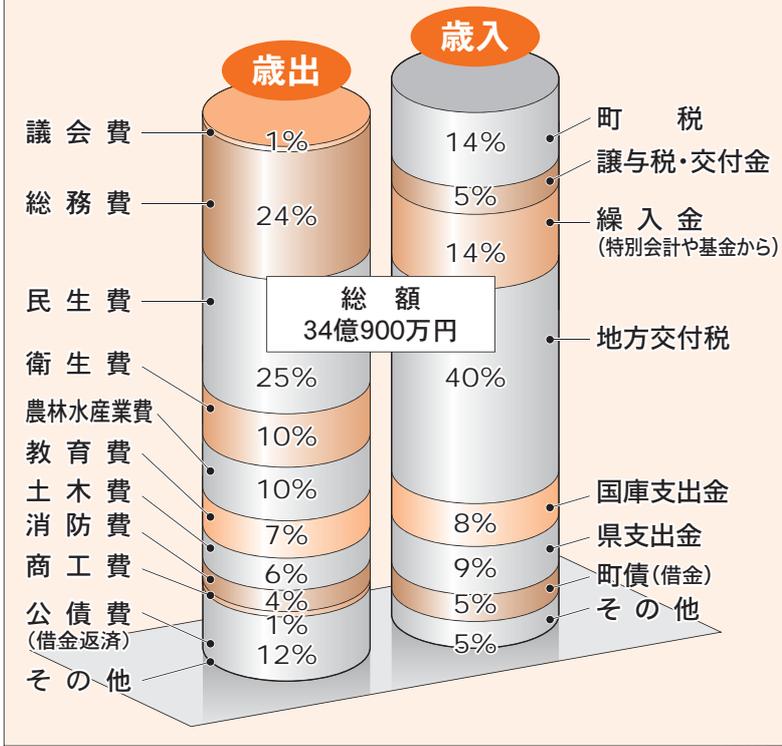
事務体制は、今の簡易水道対策室から課に上げるか検討する。

答 松本簡易水道対策室長

料金は現在、川北地区と沼江地区が統一料金となっている。今後、組合と協議し統一化をめざしたい。

一般会計当初予算の歳入・歳出構成比

動き



特別会計予算

国民健康保険	8億5,441万円
介護保険	8億4,461万円
勝浦病院	7億2,014万円
後期高齢者医療	9,363万円
簡易水道	7,436万円
農業集落排水事業	3,638万円
物産販売 (道の駅)	1,683万円
住宅新築資金等貸付	74万円

骨格予算とは

町長改選期による最低限必要な予算の編成



*30年度一般会計予算

問 国清議員

当初予算で取り崩している「自ら考え自ら実践する地域づくり基金」の残高は。また、基金の目的から、町民の声を聞いて、町民のために使うべきだ。

答 山田企画総務課長

基金残は約4700万円。町民の声を聞き有効活用したい。

問 松田議員

当初予算34億円で、骨格予算と言うが、前年対比96%と多い。何が要因か。

答 山田企画総務課長

特に人件費が増えており、新規採用4人も含まれている。

*勝浦病院事業特別会計

問 美馬議員

病棟に電子カルテが導入される。業務を効率化し、ベットサイドでの患者ケア時間を増やすべき。

答 笠木病院事務局長

業務を軽減し対応したい。

問 大西議員

町からの繰入金が、29年度は1億5千万円。新年度は9400万円だが経営は大丈夫か。

答 笠木病院事務局長

入院患者が増えているので、予算内で収めたい。

町の課題に切り込む!

一般質問

各議員の動画中継はそれぞれ掲載ページのQRコードから見られます

質問議員	質問事項	ページ
国清一治	1、危険な星谷橋、早期に改修計画を 2、やっと着工、新浜勝浦線「星谷工区」 3、みかんブランド化に向かって	5
仙才守	1、新町長の政治姿勢を問う 2、特定団体との政策協定の影響は 3、課税漏れの問題 4、インターネット利用率48.2% 5、病院改築計画	6
森本守	1、ガン検診、料金を見直しては 2、断水は心配ないか 3、広域ゴミ焼却場の計画	7
麻植秀樹	1、どうするのか、勝浦川水害対策 2、空き家改修の推進を 3、林道整備の推進を 4、ごたごた続き、阿南方面通学バス	8
井出美智子	1、愛育班、組織の見直しを 2、子育て支援策を 3、耕作放棄地対策を 4、リフォーム助成事業の実現は	9
美馬友子	1、介護保険料大幅増額、どのように理解を得るのか 2、病院改築、ソフト面の充実を 3、大きな字の「ひらがな」名札を	10
松下一一	1、政策協定は必要か 2、救急搬送の課題は 3、どこまで進んでいるのか、沼江バイパス 4、移住定住策は	11
松田貴志	1、固定資産税課税漏れの認識は 2、意欲向上に向けた昇格制度を 3、定住対策、宅地造成の今後の展開は 4、県立高校の学区制への対応は	12
大西一司	1、野上新町長、めざす町づくりは 2、アグリサポート事業の拡大を 3、インバウンド、受け入れ態勢は万全か 4、病院改築、推進体制の強化必要では	13

会議予定日 5月14日・15日 6月12日(子ども議会)

坪井道恵(石原)
福岡順二(黒岩)
大久保 巖(今山)
徳山洋子(星谷)
白草千鶴(生名)
相原愛子(棚野)
長通悦子(中山)
桂木章子(横瀬)
押栗友輝(与川内)
戸田千恵美(坂本)

30年度新モニター決定(敬称略、順不同)



議会広報モニター会議を4月17日に開催し、新旧モニターと広報委員で議会広報や町政全般についての意見交換をした。新町長を迎えた議会での議論に期待する声があった一方、従来からの課題積み残しに対する厳しい意見もあった。特に宅地造成や防犯灯の増設が強く望まれていることが分かった。

また、議会中継のアクセス数や新たな発信方法等、開かれた議会に向けた提言があった。

議会広報に提言



国清一治 議員

危険な星谷橋

早期に改修計画を

基金を創設したい (町長)

問 私は星谷橋を「危険な最後の潜水橋」として、10年間質問を続けてきたが、具体化されなかった現状と危険度、改修の必要性をどう認識しているのか。

答 柳澤建設課長
現状は、鉄筋が腐ったり爆裂して露出しており、床版より下にひびが縦横

コンクリート部分が剥がれ欠損した橋脚



床版より縦横に入ったひび



危険な星谷橋

に入っている。橋脚の断面も欠損し、コンクリート部分が剥がれているところもある。21年度に橋梁の長寿命化計画の調査では、星谷橋は老朽化が進み危険で架け替えが必要との結果が出ている。

問 町長は選挙戦を通じて、星谷橋架け替えを公

問 工事着工が遅れている県道新浜勝浦線「星谷工区改良工事」の経緯と、現状はどうなっているのか。

答 柳澤建設課長
27年度に現地調査、28年度に測量設計を実施した。29年度には境界立会に伴う測量設計を行い、工事を発注している。

やつと着工 新浜勝浦線 「星谷工区」

問 みかんのブランド化に向けて、生産販売協議会において、統一ダンボールの協議が進んでいるが、その状況は。

答 海川産業交流課長
ブランド化は、JAと一体となって取り組むことが必要で、昨年10月

約として述べているが、今後どのような計画を立てて行こうとしているのか。

また、早期架け替えに向けて基金を積立ててはどうか。

答 野上町長
危険な状況であり、今後、財政状況をみながら基金を創設したい。

問 県では、新年度予算が多く付いたと聞くが、どう認識しているのか。

また、今後の予算確保に向けての対応は。

答 柳澤建設課長
情報として聞いているが、発表できる段階ではない。

答 野上町長
星谷地区の住民や地元県議とともに、県に強く要望していきたい。

みかんブランド化 に向かって



に基本方針を決定し、2月に統一ダンボールのデザインを決定した。

新たなデザインはオレンジカラーを用い、シンブルで、「勝浦熟成みかん」と明記している。





仙才 守 議員

新町長の政治姿勢を問う

対話を通じて 町民重視の町政に（町長）

問 選挙では「町民無視の町政を町民重視の町政に変える」と主張していたが、職員時の言動を考慮すると違和感がある。

答 野上町長

選挙活動中、多くの町民と接し様々な提言をいただいた。対話を通じて行政と町民とのかい離を埋めていく。このことが町民重視の政治姿勢につながるかと考えている。

特定団体との政策協定の影響は

問 「住みよい勝浦町をつくるみんなの会」と政策協定を結んでいたが、町民はそのことを知らずに投票した恐れがある。意図的に隠していたのではないか。

答 野上町長

ことさら協定を結んだことに触れてはいないが、秘密にしていたわけではない。

問 共産党関連の団体と政策協定を結んでいる首長は県内にいるのか。

答 藪下副町長

承知していない。

問 協定書は町政にどのような影響を及ぼすのか。また、協定の中にある公契約条例はいつ上程するのか。

答 野上町長

政策協定の内容は努力目標であり、必ずしも実現するというものではない。当該団体とは定期的に会合を持つことになっている。



野上町長

課税漏れの問題

問 28年9月町長が、参事の時に課税漏れ問題が発覚した。責任者として有効な対策がとれず長期化させた。対応に問題はなかったか。

答 野上町長

次年度の課税に間に合わせることを優先して指示を出していた。

インターネット利用率48・2%

問 アンケートの結果は。また、今後の料金対応は。

答 山田企画総務課長

回収率は47・2%でインターネットの利用率は48・2%だった。料金については、31年度から新契約でのサービス提供が可能であるが、上勝町や契約業者との協議が必要となる。

病院改築計画

問 今後のスケジュールは。

答 石木地方創生推進室長

設計業務の委託業者はプロポーザル方式で選定する。3月16日に募集を開始し、募集内容はイン

ターネットに公開している。4月下旬に一次審査、6月上旬に2次審査を行う。6月中をめどに業者を決定したい。



視察に行った「三好市立三野病院」（平成24年改築）





森本 守 議員

ガン検診

料金を見直しては

慎重に対応したい（福祉課長）

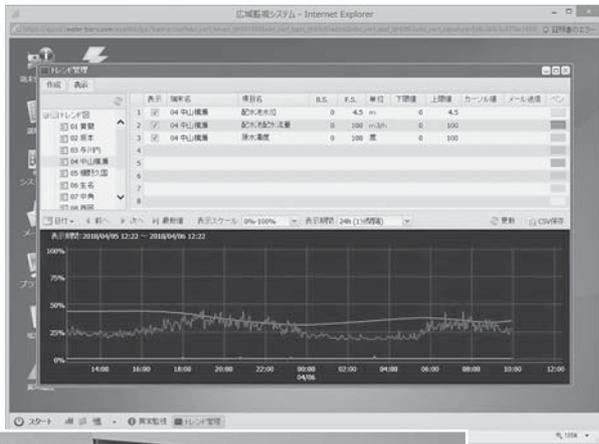
問 勝浦町は愛育班活動や特定健診無料化、巡回健診で受診率は上がっているが、全国と比較すると徳島県は低い。さらに受診率向上のためには、料金の見直しなどの推進策が必要ではないか。

県内での受診率順位	町内受診率	検診種別
1位	23.3	大腸
1位	16.8	胃
2位	25.1	乳
2位	24.9	肺
10位	21.4	子宮頸

問 早期発見できればがんは治る。勝浦町の検診受診率はどうなっているか。

答 岡本福祉課長
徳島新聞の調査によると表のとおり、勝浦町は上位の受診率である。

24時間監視できる



遠隔監視システム

問 岡本福祉課長
受診者の負担する料金は、委託料金の約5分の1で実施している。また、70歳以上の非課税世帯と生活保護世帯は無料である。料金の見直しについては、財政面や他市町村の動向を見ながら慎重に対応したい。

断水は心配ないか

問 那賀町で大規模な水道の断水があった。勝浦町では漏水がかなりあると聞か、断水の心配はないか。

また、断水時の対応マニュアルはできているか。

答 松本簡易水道対策室長
11地区、12施設で漏水があるが、昨年完成した遠隔監視システムで、すべての施設を24時間監視している。

2月の渇水期でも水量は確保されており、断水の心配はないと判断している。

広域ゴミ焼却場の計画

問 建設候補地として飯谷町が指定された。地元と環境対策など十分話し合いをして、了解を得てほしい。

答 野上町長
徳島市は施設整備基本計画の検討を進めており、施設の概要版を作成し、周辺住民向けに説明会を開くと聞いている。

また、施設については環境対策がされる。

その他の質問

- 気候変動に対応した農業の複合経営
- 健康寿命を延ばすために





麻植秀樹 議員

どうするのか

勝浦川水害対策

交通不能は解消したい (町長)

問 所信表明で述べている、勝浦川の水害対策はどうするのか。

答 野上町長

水害対策は公約に挙げられており、大雨などの災害時に県道が遮断され、交通不能になる所を解消していきたい。
また、勝浦川堤防の漏水等についても点検をしていく。

空き家改修の推進を

問 空き家改修は成果が出ていない。事業推進に向け、補助金の増額を考えているのか。

答 海川産業交流課長

近隣市町村の状況と比較しても、100万円の上限額は妥当であると考えている。

問 家主、利用者の両者に補助金は支給できないか。

答 海川産業交流課長

この事業は「かつうら創生総合戦略」として、31年度までの計画となっているので、今のところは現制度で進めていく。
今後は期間中の実績を分析し、次年度以降の存続を含め考えていく。

林道整備の

推進を

問 林業を活性化するために、間伐作業をはじめとする森林整備や、有害鳥獣対策として防護ネット設置にも林道の利活用が期待される。林道整備の推進を。

答 野上町長

水源地や環境保全面など十分把握し、効果的に事業ができるのであれば検討したい。



開通間近の立川相生線

こたこた続き

阿南方面

通学バス

問 昨年購入した町営バスだが、費用増大で売却となった。そのバスはどうなっているのか。

答 笹山教育委員会事務局長

バスは官公庁オークションにて競売にかけ売却し、代金は入金されている。現在、通学バスの運行は業者に委託し、通学に支障はない。



売却された通学バス!!





井出美智子 議員

愛育班

組織の見直しを

意見を聞き改善したい（福祉課長）

問 愛育班活動は、町民すべてを対象にして、健康作りを担っている。健康診断の受診率が県下でトップなど大きな役割を果たしているが、職員も減り、役員のなり手がいないなど、組織を見直す時期に来ているのではないか。

答 岡本福祉課長
役員の世代交代により、活動の意義がわかりにくくなり、高齢化と班員の減少も進んでいる。地区の中には、区の世話役さんの協力を得たり、会費を集めない班もあると聞く。班員の意見を聞き、改善していきたい。



愛育班活動で健康づくり

答 野上町長
活動を継続していく大変さは、他団体と共通するものがある。町民の健康を守るために大切な組織なので支援する。

子育て支援策を

問 国民健康保険の県の標準税率が示されているが、町の税率は新年度はどうなるのか。

答 久木税務課長
勝浦町は、税率を平均で2%引き下げる。

問 国民健康保険の18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の第3子以降の均等割額を全額免除したら、どのくらいの予算が必要か。

答 久木税務課長
対象は、税の減額世帯に限定し、16世帯で46万4千円必要である。

問 就学援助費の入学準備金の3月支給が、全国で5割に広がっている。勝浦町はいつ実施するのか。

答 野上町長
近隣に遅れないよう、よく調べて対応したい。

耕作放棄地対策を

問 平野部での優良農地が、耕作放棄地になっていくのを多く見かけるが、どれくらいの面積となっているのか。

答 海川産業交流課長
平野部で、3・8ヘクタールあり、隣接する田畑に支障が出ている。

問 経済効果と美観を兼ねて、ハーブなどの栽培に補助金を出したらどうか。

答 海川産業交流課長
町単補助制度を使いやすくし対応したい。

リフォーム助成事業の実現は

問 リフォーム助成を多くの建設労働者が期待している。いつになるのか。

答 野上町長
31年度までは、地方創生事業の「空き家改修工事」などがあるので、32年度から具体的な事業を取り組みたい。





美馬友子 議員

介護保険料大幅増額

どのように理解を得るのか

わかりやすく説明したい（福祉課長）

問 介護保険制度ができて17年しかたっていないのに、介護保険料は上昇し続け深刻な課題である。今回の改正で基準額が、月額5800円から6900円に増額されたが、保険料の負担増加をどのように理解を得るのか。

答 岡本福祉課長

勝浦町は県内でも高額となつてきているが、サービスは充実している。理解を得るため、わかりやすい説明資料を作成し、4月の広報やホームページ、福祉課や包括支援センターで説明していく。

問 30年度から介護保険事業の内容はどう変わるのか。

答 岡本福祉課長

地域支援事業は65歳以上のすべての方を対象に介護予防を行う。介護予防事業では予防教室とともに百歳体操の普及を行う。認知症の早期治療につ



問 「第7期介護保険事業計画」の策定に課題はあったのか。

答 岡本福祉課長

2025年問題で団塊の世代が後期高齢者になつていくという問題があり、勝浦町では42年に1221人と最高になる。15歳から64歳までの生産年齢人口の推定も32年

なげるために、認知症ガイドブック作成や「認知症初期集中チーム」を設置し対応していく。

には2307人、52年には1455人と半減する。介護保険を支える人口が急激に減少するが、高齢者の人口はほぼ横ばいであり、保険料に影響してくる。

病院改築

ソフト面の充実を

問 外部からの教育師長を配置し質の向上をめざし、選ばれる病院にすべ

答 笠木病院事務局長
質の向上を図ることは病院としては当然の義務である。

教育体制は十分とは言えないので検討したい。

大きな字の「ひらがな」名札を

問 職員を名前で呼びたいが名札が見にくい。大きな字でひらがなにしてはどうか。

答 山田企画総務課長
名前を覚えてもらうことは大事なことであり、前向きに検討する。

その他の質問

○意識改革で連携を
○就学支援体制の強化を



4月から議会事務局職員に「小松康江さん」





松下一一 議員

政策協定は必要か

公平性は欠かさない（町長）

問 小学校の統合はないのか。

答 野上町長
町民の生活改善と密着した協定項目である。今後進める町づくりの基本になる項目で、偏つたものでなく公平性は欠かない。撤回するつもりはない。

問 町政が一党一派に偏る政策協定はすべきでないと思うが見解は。また、政策協定を撤回する考えはあるか。

答 野上町長
耐震化事業や大規模改修が実施しているの、よほどの状況変化がない限り今の体制で進める。



どうする県果樹研究所

問 特養施設の入所待機者も多く、増床計画はないのか。

答 岡本福祉課長
89人の待機者がいるが、今後在宅支援を強化していくので増床計画はない。

問 救急搬送の課題は

答 石木地方創生推進室長
詰所の統一は実現したい。体制については委託業者に相談するなど今後の課題としたい。

問 救急隊と業務委託の救急士の詰所を統一し、体制を一本化すべきでは。

答 野上町長
今後、小松島市と協議したい。

問 旧勝浦高校の実習園や、県果樹研究所跡地の利用計画はあるのか。

答 野上町長
旧実習園は新規就農者への貸し出しや公園整備が考えられる。研究所跡地は県と連携し、事業内容について今年度中に協議する。

救急搬送の課題は

問 沼江バイパスから柳澤インターへのアクセス道は。

答 柳澤建設課長
排水対策は将来を見据えた十分な対策が必要であり、橋谷川は事業を開始し、天川谷川は県と協議しながら対策を行う。

問 現況はどうなっているのか。

答 石木地方創生推進室長
建設費助成、家賃助成は31年度までの計画である。目標戸数は24戸で、現在まで20戸が建設された。32年度以降の実施は今後検討する。

問 移住、定住住宅の建設費助成と家賃助成の方針は。また、町内業者育成のために何らかの条件も必要でないか。

答 石木地方創生推進室長
建設費助成、家賃助成は31年度までの計画である。目標戸数は24戸で、現在まで20戸が建設された。32年度以降の実施は今後検討する。

問 救急救命活動中での事故の責任はどうなるのか。

答 山田企画総務課長
運転中の事故は町が責任を持つ。救命士については委託業者負担となる。

問 移住、定住住宅の建設費助成と家賃助成の方針は。また、町内業者育成のために何らかの条件も必要でないか。

答 石木地方創生推進室長
建設費助成、家賃助成は31年度までの計画である。目標戸数は24戸で、現在まで20戸が建設された。32年度以降の実施は今後検討する。



早く利用計画を「実習園跡地」



固定資産税

課税漏れの認識は

職員の能力向上に努めたい（町長）



松田貴志 議員

一般質問

問 28年度に発覚し、29年度に表面化した。当時、野上町長は参事として事件の早期收拾に取り組んだが、在職中の解決には至らなかった。当時のことを振り返り、今後の行政運営をどのようにしていくのか。

答 野上町長
当時の人事担当課長として、責任の一端はある。今後、人事評価制度等を有効に活用し、職員の能力向上に努め、正確で公平性のある業務を遂行していく。

意欲向上に向けた昇格制度を

問 人事評価制度をより効果的にするため、新たに昇格制度等を取り入れるべきだ。具体的な実績や業務効率化への貢献などを評価の対象にし、昇格、昇給に繋がるような制度を構築すべきでは。

答 藪下副町長
県には功績表彰や永年勤続表彰がある。職員のもの引き出すという意味でも有効だ。県と町では規模や条件も違うので研究が必要だ。

定住対策

宅地造成の今後の展開は

問 宅地造成は、人口偏在の解消を目的として、横瀬地区に整備された経緯がある。29年度予算分は沼江地区に整備されるようだが、ますます人口偏在が進むように思える。宅地造成に対する町長の見解は。

答 野上町長
横瀬地区では「奥過ぎる」という意見が多い。私も偏在がなくなること望んでいるし、横瀬小学校がそのまま存続するには宅地造成が必要と考える。

29年度予算で沼江地区に造成するが、その状況を見ながら今後のことは検討したい。

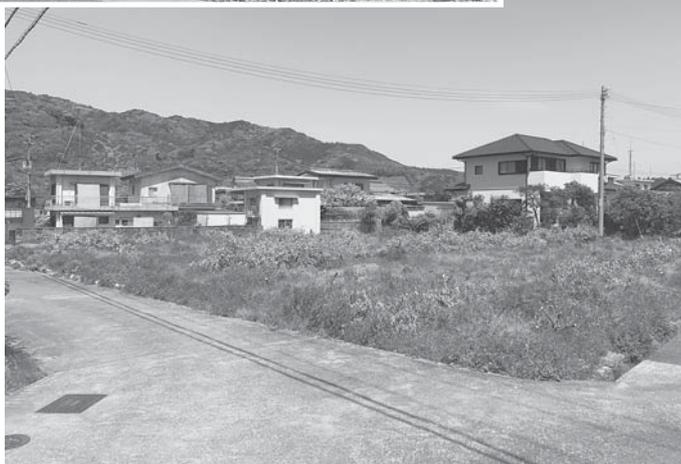
県立高校の学区制への対応は

問 移住・定住促進への足かせとなっている学区制解消に向け、具体的にどのような方針で取り組んでいくのか。

答 野上町長
勝浦町の生徒が公共交通機関を利用して通るのが自然であり、学区制の是正に向けた機運が高まっており賛同している。今後、意見を言える場面があれば、強く要望していきたい。



建設が進む「横瀬前川団地」



宅地造成予定地（沼江）



めざす町づくりは

町民が住みやすい町に（町長）



大西一司 議員

【答】野上町長
まず、町民が住みやすいと感じる町をめざし、安全・安心で生き活きと暮らすことができることが大事である。
そして子どもたちが大きくなった時、「勝浦町に住んで良かった」、「勝浦町が故郷で良かった」と思える町づくりをめざしたい。

【問】本町は昭和30年の合併当時人口1万1600人であったが、現在は約半分の5360人で、40年後には2000人を割る予想だ。
近年は減少が加速しており、高齢化も進んでいり、持続可能な自治体として、元気な町づくりに新町長はどんな構想があるのか。

アグリサポート 事業の拡大を

【問】昨年8月から2名のスタッフで事業展開されている。農家のニーズも多く、事業の拡大や今後の方向性は。



協力隊による消毒作業

【答】海川産業交流課長
現在、2名の協力隊員が農業技術やみかん栽培などを学び、狩猟免許を取得し一生懸命取り組んでいる。
将来は、町内で就農しながらサポート業務も協力してもらえればと期待している。
また、新たなスタッフの採用も検討していきたい。



みかんのプレゼント「インバウンド」

インバウンド 受け入れ態勢は万全か

【問】4月4日に台湾からクルーズ船で、約2000人の観光客が桜見物に訪れるが、周辺整備や受け入れ態勢は万全か。

【答】藪下副町長
一年前から何度も協議を重ね、10月には受け入れ協議会を立ち上げ、準備もほぼ整った。
多言語表記の周辺マップを作成し、町内外から約120人の運営ボランティアや40人の通訳ボラ

病院改築 推進体制の強化必要では

【問】3月16日に基本設計、実施設計のプロポーザルの応募が開始され、いよいよ改築事業がスタートしたが、専門的知識も必要な事業であり推進体制の強化を図る必要があるのでは。

ンティアの協力体制ができた。勝浦町に来て良かったと思ってもらえるよう頑張りたい。
また、道の駅周辺整備については今後、エリア全体での議論を深めていきたい。

【答】野上町長

役場の機構再編も含め、技術的・知識的なことは外部からの専門職の助けを受けることも検討したい。



新鮮力! 協力隊が走る

シリーズ③

「地域おこし協力隊」の活躍を、シリーズで紹介しています。
今回は!

長山将悟さん



★まずは自己紹介

出身は山口県下関市です。育った環境が田舎だったため、地域の観光について興味があり、大学時代は観光学を学びました。趣味としていつかやってみたかった三味線を、勝浦町で始めました。

★なんでこの町へ

学生時代にインターンシップで勝浦町に来たことがあり、協力隊の募集を知り応募しました。



★どんなことしょんで

最初は「道の駅ひなの里かつうら」で、その後は「勝浦町地域活性化協会」で働いています。昨年8月に開館した「レヴィタかつうら」で施設運営や町の観光振興事業に取り組んでいます。



★ゆめは大きく

地域にとって若者の想いは大切であり、そのためにも同年代の若者と一緒に、催し物の企画や運営に取り組み、活躍できる町にしていきたい。

「地域おこし協力隊」とは

人口減少の著しい地方において、地域の維持・強化を図るため、都市から人材を確保し、さらに定住へとつなげる制度で、期間は3年間です。

編集後記



中国の「春秋左氏伝」。「齊の宰相が史書の書き換えを命じたが、官僚が拒否したので殺した。後任の官僚も拒んだので殺した。次の官僚が拒否した時、宰相はやっとあきらめた」

見識ある官僚の話である。

日本の国会では、改ざんされた文書をもとに「森友問題」を審議し、総選挙が行われた。

見識を欠く権力者と、財務省官僚のせいと民主主義の根幹が揺らいでいる。

見識を欠くといえば、県警中央警察署(旧東署)の移転問題。裁判所の横に移転するという。

「徳島ラジコ商殺し事件」を忘れたのだろうか。我々はそのうち裁判所の役人と警官が仲良く出勤する光景を目にすることになる。

見識が問われているのは議員や町職員も同じだ。議会だよりにご意見をあよせください。

(仙才 守)

表紙写真

鮎の放流

「大きくなれ!」